

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2008年4月）

【目次】

・中華圏・韓国

- 1 .中国経済の概況・・・投資と輸出の堅調を背景に景気の拡大が続く ... p.1
- 2 .中国の主要指標解説：堅調な拡大が続く対中直接投資 ... p.3
- 3 .台湾経済の概況・・・輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復続く ... p.4
- 4 .韓国経済の概況・・・内需不振も輸出堅調で1～3月期は5.7%成長 ... p.5

・ASEAN・インド

- 1 .タイ経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気は緩やかに回復 ... p.6
- 2 .インドネシア経済の概況・・・輸出堅調で1～3月期は6.3%成長 ... p.7
- 3 .マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4 .ベトナム経済の概況・・・引締め政策にもかかわらず景気に過熱感 ... p.9
- 5 .インド経済の概況・・・引締め政策による内需鈍化で景気に減速感 ... p.10

・アジア通貨・株価動向

... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

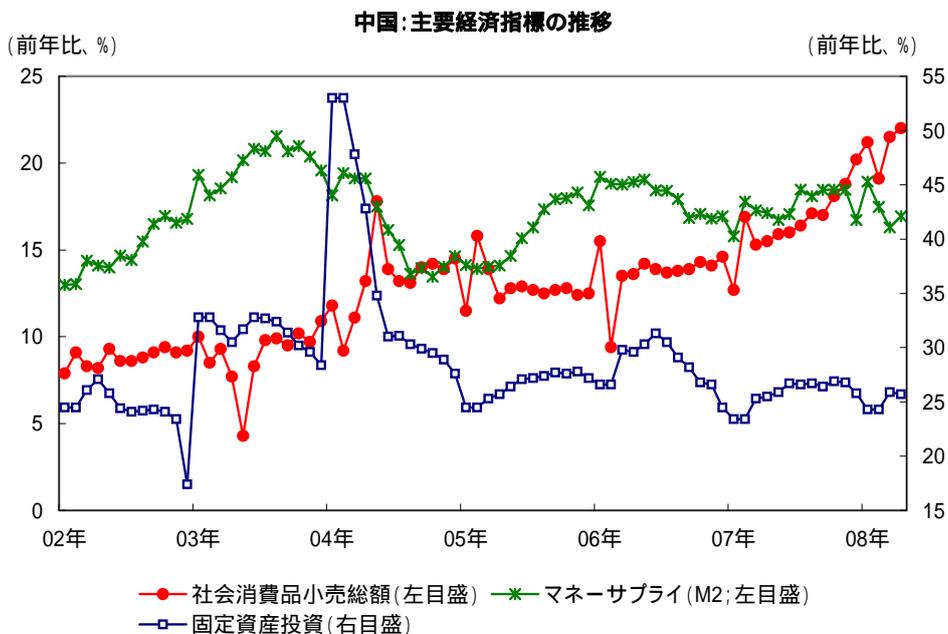
【お問い合わせ先】海外経済班

野田 (mariko.noda@murc.jp)

. 中華圏・韓国

1 . 中国経済の概況

- ・ 投資と輸出の堅調を背景に景気の拡大が続いている。1～4月期の固定資産投資(都市部・50万元以上)は前年比25.7%増と1～3月期の同25.9%増から0.2%ポイント鈍化した。ただし、この一因として休日設定の変更により今年4月の営業日数が昨年に比べて2日少なかったことの影響が指摘されており、政府の引締め政策にもかかわらず不動産関連(同32.1%増)を中心に投資の基調は依然として堅調である。
- ・ 一方、4月の輸出は近隣アジア諸国及び新興市場国、また欧州向けの好調から前年比21.8%増と堅調な拡大が続いており、4月の貿易黒字は167億ドルと前月の134億ドルから大幅に拡大した。
- ・ 4月の消費者物価上昇率は食品価格の再騰などから前年比8.5%と再び加速した。こうした中で中国人民銀行(中銀)は5月12日に預金準備率を0.5%ポイント引き上げ16.5%(実施は5月20日)にすることを決めた。しかし今後のインフレ動向次第では追加の金融引締め措置が取られる可能性があると見られている。
- ・ 5月12日に四川省で起きた大地震の被害は未だその全容がつかめない状況であるが、報道される被災地の状況は極めて深刻であり、マクロ経済面からは生産活動へのマイナスの影響が懸念される。ただしその一方で、被災地での復興投資の本格化は今後、投資の押し上げ要因となろう。



(注) 固定資産投資は年初からの累計の前年比、各年1月と2月は1～2月の前年同期比(同値)をプロット、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。 (出所)CEIC

【中国・香港の主要経済指標】

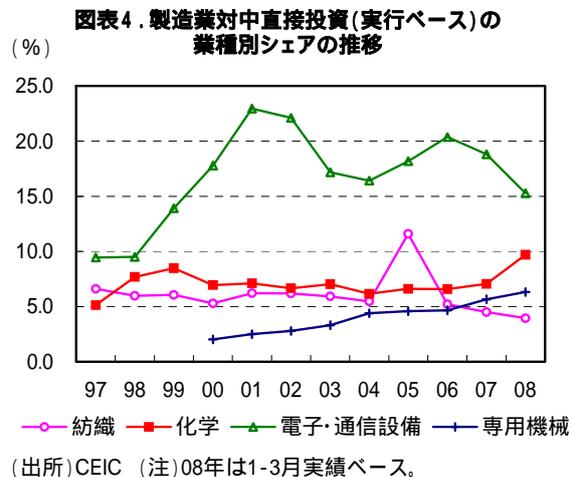
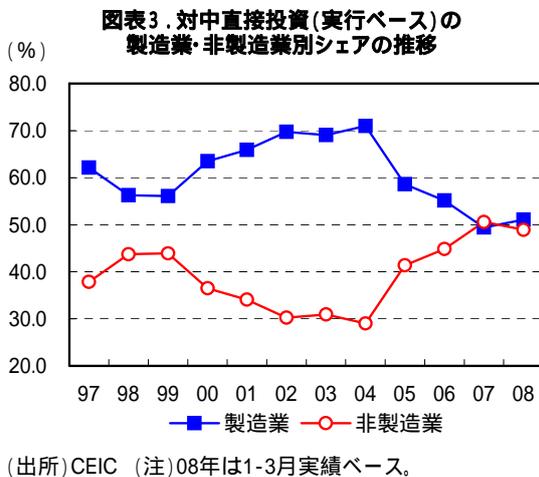
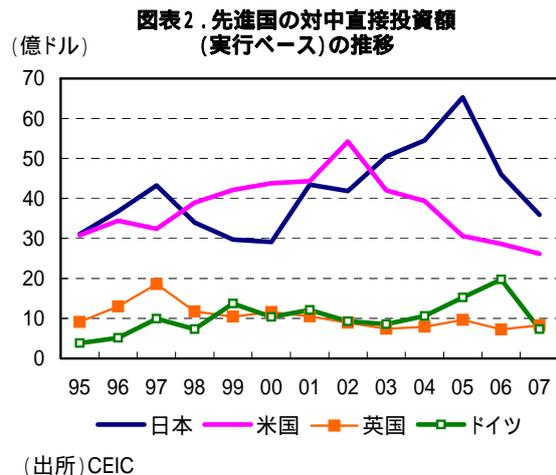
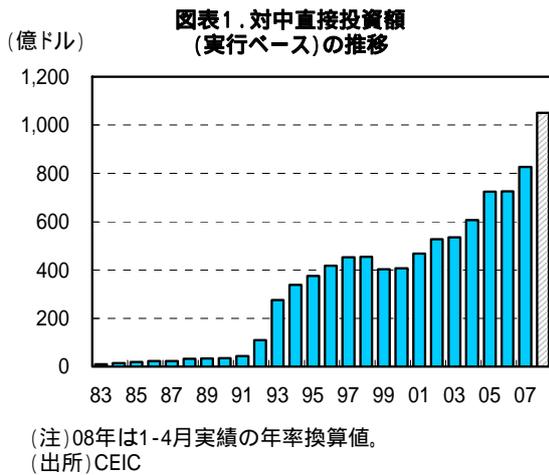
			2005年	2006年	2007年	07/2Q	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月	
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.4	11.6	11.9	11.9	11.5	11.2	10.6				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	14.6	15.7	17.7	16.3	11.3	17.7	19.7				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	12.9	13.7	16.7	15.8	16.8	19.0	20.6	21.2	19.1	21.5	22.0
		うち市	前年比%	20.6	14.3	17.2	16.3	17.2	19.5	21.2	22.2	19.3	22.1	22.9
		うち県	前年比%	15.2	13.3	17.3	16.4	17.6	19.9	21.2	21.3	20.6	21.7	
		うち県以下	前年比%	16.3	12.3	15.0	14.1	15.2	17.4	18.3	18.0	17.7	19.4	
		自動車販売台数	前年比%	13.8	24.8	22.3	25.1	27.9	15.3	21.8	19.8	19.9	24.7	14.1
		うち乗用車	前年比%	21.5	36.7	24.0	22.7	27.1	17.0	22.5	20.9	19.9	26.0	8.0
		消費者自信指数	期中平均	94.2	94.7	96.5	96.8	97.0	96.5	94.8	95.6	94.3	94.5	
	消費者期待指数	期中平均	95.1	97.2	99.1	99.3	99.6	99.1	97.5	98.6	96.8	97.1		
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	27.2	24.5	25.8	26.7	26.4	25.8	25.9		24.3	25.9	25.7
		うち不動産・居住用建物	前年比%	19.6	26.8	30.3	29.8	30.1	30.3	34.3		30.9	34.3	32.1
うち国内企業		前年比%	28.5	25.0	26.1	27.1	26.8	26.1	27.0		24.5	27.0	26.8	
うち製造業		前年比%	38.6	29.4	34.8	34.7	35.6	34.8	31.9		35.8	31.9		
うち鉄鋼		前年比%	27.5	2.5	12.2	9.6	13.0	12.2	22.4		30.0	22.4		
うち輸送機械		前年比%	51.1	25.2	38.5	30.6	35.2	38.5	48.0		40.5	48.0		
うち電気機械		前年比%	44.9	45.6	44.9	44.2	43.5	44.9	45.0		61.2	45.0		
うち情報通信機器		前年比%	18.2	38.7	24.3	32.3	24.4	24.3	8.5		2.8	8.5		
直接投資契約件数 (累計ベース)		前年比%	0.8	5.8	8.7	5.4	6.0	8.7	25.3	13.4	23.5	25.3	23.2	
直接投資実行額 (累計ベース)		前年比%	19.4	0.3	13.8	12.2	10.9	13.8	61.2	109.8	75.2	61.2	59.3	
不動産景気指数	期中平均	101.9	102.5	103.9	103.2	104.5	106.3	105.1		105.6	104.7			
貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	102.1	177.5	262.0	66.2	73.2	76.0	41.4	19.5	8.6	13.4	16.7	
	輸出 (ドルベース)	前年比%	28.4	27.2	25.7	27.4	26.2	22.2	21.4	26.6	6.4	30.6	21.8	
	輸入 (ドルベース)	前年比%	17.7	19.9	20.8	18.2	20.7	25.4	28.6	27.5	35.1	24.8	26.6	
	対米貿易収支	10億ドル	114.2	144.3	162.9	39.2	44.7	44.2	33.2	12.1	9.4	11.7	13.1	
	対日貿易収支	10億ドル	16.4	24.0	31.8	7.7	9.9	7.8	8.3	2.1	2.8	3.4	3.7	
	外貨準備	期末10億ドル	818.9	1066.3	1528.2	1332.6	1433.6	1528.2	1682.2	1589.8	1647.1	1682.2		
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%	15.9	16.2	17.3	18.3	18.1	17.5	16.6		15.4	17.8	15.7
うち国有企業		前年比%	10.7	12.1	13.2	13.2	13.9	13.8	12.9		11.5	14.3	11.3	
うち株式企業		前年比%	17.3	17.4	19.1	20.1	20.3	19.8	19.2		18.0	20.4	18.1	
うち外商・港台企業		前年比%	15.8	16.7	16.1	16.9	16.7	16.3	14.5		13.3	15.6	14.1	
在庫額		前年比%	21.0	18.5	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		22.5			
うち鉱物		前年比%	42.4	37.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		26.0			
うち素材		前年比%	27.1	19.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		23.9			
うち機械	前年比%	16.7	15.6	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		22.8				
発電量	前年比%	13.4	14.7	15.7	17.7	16.3	16.1	16.0	12.7	18.8	17.2	13.7		
所得 雇用	都市一人当たり所得 (累計ベース)	前年比%	11.8	12.4	17.2	20.4	20.2	17.2	8.1					
	鉱工業雇用者数	前年比%	8.8	8.3	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.		10.7			
	労働力市場求人倍率	期末	0.96	0.96	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98					
物価	第二次産業/全産業求人比率	期末%	30.8	33.0	37.1	37.3	36.3	37.1	39.4					
	消費者物価指数	前年比%	1.8	1.5	4.8	3.6	6.1	6.6	8.0	7.1	8.7	8.3	8.5	
	うち食品	前年比%	2.9	2.3	12.4	8.9	16.8	17.5	21.0	18.2	23.3	21.4	22.1	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.1	1.2	2.0	2.1	1.7	1.9	2.2	2.1	2.1	2.5	2.7	
生産者物価指数	前年比%	4.9	3.0	3.1	2.7	2.6	4.4	6.9	6.1	6.6	8.0	8.1		
金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	17.6	16.9	16.7	17.1	18.5	16.7	16.3	18.9	17.5	16.3	16.9	
	インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	1.43	1.86	2.13	2.10	2.30	2.23	2.12	1.98	2.29	2.09	2.31	
	株価指数 (上海総合)	期末	1,161	2,675	5,262	3,821	5,552	5,262	3,473	4,383	4,349	3,473	3,693	
	為替レート (元/ドル)	期中平均	8.19	7.97	7.61	7.68	7.56	7.43	7.16	7.24	7.16	7.07	7.00	
	為替レート (円/元)	期中平均	13.4	14.6	15.5	15.7	15.6	15.2	14.7	14.9	14.9	14.2	14.7	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	7.1	7.0	6.3	6.4	6.3	6.7					
		うち民間消費	前年比%	3.0	6.0	7.8	5.8	10.6	10.0					
		うち固定資本形成	前年比%	4.1	7.0	6.0	10.0	1.0	10.4					
	名目GDP成長率	前年比%	7.0	6.7	9.3	8.3	9.8	11.7						
	消費	小売販売数量指数	前年比%	6.1	5.6	10.4	8.0	12.6	13.6	11.2	7.2	13.1	13.2	
		不動産	不動産価格指数	前年比%	18.0	0.7	11.7	7.5	12.2	21.4	28.8	29.1	29.2	28.2
			うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	21.5	5.4	21.8	18.4	14.5	57.6	43.4	54.9	50.9	26.2
	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	2.7	20.2	49.8	38.9	32.3	95.8	58.3	97.5	61.2	18.8		
	貿易	貿易収支	10億HKドル	81.4	138.8	183.2	54.3	36.6	52.0	51.4	7.5	15.8	28.1	
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	11.4	9.3	9.3	11.9	8.2	8.2	10.5	15.8	7.6	7.6	
輸入 (香港ドルベース)		前年比%	10.3	11.5	10.5	12.9	9.4	10.5	11.6	16.9	11.9	6.6		
物価	消費者物価指数	前年比%	0.9	2.0	2.0	1.3	1.6	3.5	4.6	3.3	6.3	4.1		
金融	マネーサプライ (M3)	期末%	5.2	15.5	20.6	20.5	22.3	20.6	13.5	16.9	13.7	13.5		
	ハンセン指数	期末%	14,876	19,965	27,813	21,773	27,142	27,813	22,849	23,456	24,332	22,849	25,755	

(出所) CEIC 他 (注) 直投実行額は05年から金融分野への投資も含むベース。

2. 中国の主要指標解説：堅調な拡大が続く対中直接投資

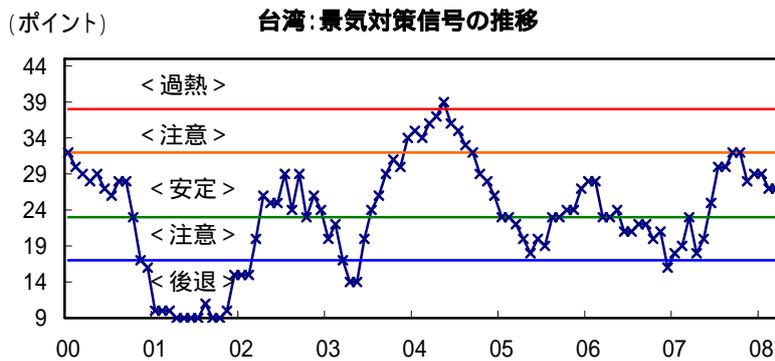
内外企業の所得税の統一など外資優遇措置の見直し、あるいは労働契約法の改正に伴う労働コストの上昇など外資系企業にとって中国の投資環境は厳しさを増しており、これまで中国の経済発展の原動力のひとつであった外資の流入が細ることが懸念されている。しかし、今年1~4月の直接投資受入れ額（実行ベース）は前年比59.3%増と堅調であり、これまでのところ懸念は杞憂に終わっていると言えそうである（図表1）。

実際、日本をはじめとする先進国からの投資はピークアウトしているものの（図表2）香港あるいは台湾資本を中心とするオフショア市場からの投資は堅調に推移している。なお直接投資の中身を業種別に見ると、先進国からの投資のピークアウトとともに製造業への投資のシェアが低下し、2007年には不動産をはじめとする非製造業のシェアが製造業を上回った。ただし、今年1~3月期実績では再び製造業投資のシェアが非製造業を上回っており、「世界の工場」としての中国の魅力が健在であることが示唆されている（図表3）。また、製造業の内訳を見ると電子・通信、化学、専用機械など比較的技術水準の高い業種のシェアが高く、総じて産業構造の高度化を目指す中国政府の方針に沿った形となっていると言えそうである。



3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。3月の景気対策信号は前月と同じ27ポイントと、引き続き景気安定圏で推移している。しかし、建築許可面積、輸出受注などの指数の弱含みから景気先行指数は低迷が続いており、行政院経済建設委員会は景気減速の兆しが見られると指摘している。
- ・ 4月の輸出は米国向けが前年比2.2%増にとどまるなど先進国向けは低迷している。しかし、香港・中国向け（同15.7%増）など近隣アジア諸国向けの好調を背景に同14.0%増と前年比二桁増ペースを維持している。
- ・ 4月の消費者物価上昇率は野菜など一部の品目で値下がりが見られたものの、肉や果物また燃料価格などの高騰から、前年比3.9%と依然として高い水準で推移している。さらに食品やエネルギー関連を除いたコアベースの消費者物価上昇率でも同3.1%と約9年ぶりの水準に加速し、物価の先行きも懸念されている。



(出所)台湾行政院経済建設委員会 (注)07年7月より新基準。

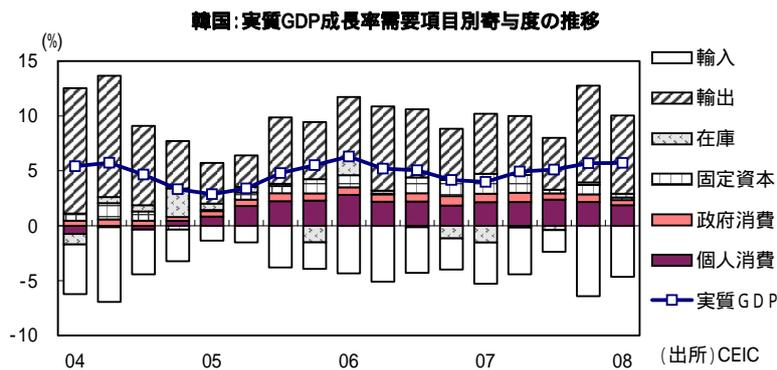
台湾の主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	4.9	5.7	5.2	6.9	6.4					
	うち民間消費	3.0	1.8	2.6	2.6	3.6	2.2					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	1.2	0.6	2.4	6.0	4.5	1.6					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.6	5.0	8.1	6.1	11.3	13.0	11.4	11.9	14.8	8.2	
貿易及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	15.8	21.3	27.4	4.3	6.9	10.0	3.3	1.5	1.7	0.2	1.0
	輸出(yoy)	8.8	12.9	10.1	6.6	9.6	15.3	17.6	11.8	18.3	22.8	14.0
	輸出受注(yoy)	19.2	16.7	15.5	12.8	18.5	17.6	15.7	16.9	18.1	12.8	
	輸入(yoy)	8.2	11.0	8.2	7.2	8.8	13.2	26.0	14.8	26.0	37.3	17.7
	経常収支(10億ドル)	16.0	24.7	31.7	5.3	6.2	11.6					
	外貨準備高(10億ドル)	253	266	270	266	263	270	287	273	278	287	289
雇用	失業率(季調値)	4.1	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	3.9	
物価	消費者物価(yoy)	2.3	0.6	1.8	0.3	1.5	4.5	3.6	2.9	3.9	4.0	3.9
金融	M2(yoy)	6.6	5.3	0.9	4.6	3.3	0.9	2.2	2.1	1.4	2.2	
	株価指数(加権指数)	6,548	7,824	8,506	8,883	9,477	8,506	8,573	7,521	8,413	8,573	8,920
	短期金利(オーバーナイト)	1.30	1.56	1.97	2.12	2.01	2.04	2.08	2.09	2.08	2.08	2.11
	為替レート(NTドル/ドル)	32.2	32.5	32.8	33.1	32.9	32.4	31.5	32.4	31.6	30.6	30.4
	為替レート(円/NTドル)	3.42	3.58	3.59	3.65	3.58	3.49	3.34	3.33	3.39	3.29	3.38

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 1～3月期の実質GDP成長率は前年比5.7%と前期と同水準であった。前年比ベースでは投資など内需の不振を輸出の堅調がカバーしている形となっている。しかし季節調整済みの前期比でみた成長率は0.7%と、前期の同1.6%から大幅に鈍化しており、韓国経済の先行き減速懸念が強まっている。実際、前年比では12.8%増と好調の財輸出も、前期比ベースでは1.1%減と高水準の前期から大幅に鈍化しており、米国景気変動の影響が示唆されている。ただし、4月の輸出(通関ベース)は中東、中南米、中国など新興国市場向けの好調から前年比27.0%増と再び大幅に拡大している。一方、米国、EU向けはいずれも前年比マイナスと報道されており、当面は新興市場頼みの輸出拡大が続く見通しである。
- ・ 4月の消費者物価上昇率は原油や穀物価格の高騰から前年比4.1%と一段と加速した。こうした中で韓國中銀は、景気減速懸念もあるものの、5月も政策金利の据え置き(5.0%)を決めた。



韓国の主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	4.2	5.1	5.0	4.9	5.1	5.7	5.7				
	うち民間消費支出	3.6	4.5	4.5	4.4	4.8	4.6	3.5				
	うち固定資本形成	2.4	3.6	4.0	5.5	1.3	2.9	0.9				
	うち設備	5.7	7.8	7.6	11.0	2.3	6.5	1.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	6.3	8.3	6.8	6.1	6.0	10.9	10.5	11.3	10.2	10.0	
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.1	4.1	5.3	4.2	7.0	4.5	3.9	4.6	2.9	4.2	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	23.2	16.1	14.6	5.0	4.5	2.7	5.9	3.8	1.3	0.8	0.0
	輸出(yoy)	12.0	14.4	14.1	14.1	9.4	18.2	17.5	15.0	18.8	18.6	27.0
	輸入(yoy)	16.4	18.4	15.3	14.7	7.3	25.9	28.2	31.2	27.6	25.8	28.6
	経常収支(10億ドル)	15.0	5.4	6.0	0.0	4.4	3.2	5.2	2.8	2.4	0.1	
	外貨準備高(10億ドル)	210	239	262	251	257	262	264	262	262	264	260
雇用	失業率(季調値)	3.5	3.3	3.0	3.0	2.9	2.8	3.2	3.1	3.3	3.2	3.0
物価	消費者物価(yoy)	2.8	2.2	2.5	2.4	2.3	3.4	3.8	3.9	3.6	3.9	4.1
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	7.0	11.4	11.5	10.9	11.0	11.5	13.9	12.5	13.4	13.9	
	株価指数(総合)	1,379	1,434	1,897	1,744	1,946	1,897	1,704	1,625	1,712	1,704	1,825
	為替レート(ウォン/ドル)	1,023	953	930	929	928	925	958	944	937	992	1,000
	為替レート(円/100ウォン)	10.8	12.2	12.7	13.1	12.6	12.2	10.8	11.3	11.2	10.1	10.3
	C/Dレート(3ヵ月物)	3.65	4.48	5.16	5.01	5.20	5.50	5.45	5.81	5.28	5.25	5.38

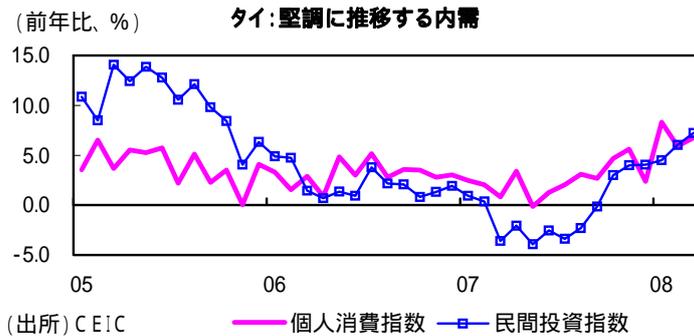
(出所)CEIC

(注)yoy=前年比(%)

・ A S E A N ・ イ ン ド

1 . タイ 経 済 の 概 況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気は緩やかに回復している。3月の輸出は製造業に加えて農業部門でも大幅に拡大し、前年比 14.4%増と堅調だった。一方、3月の総合消費指数と民間企業投資指数はそれぞれ前年比 6.8%増、同 7.2%増だった。自動車販売が新モデルの投入やモーターショーでの販促の効果から好調だったほか、農家所得の増加を背景に二輪車の販売も拡大している。こうした中でタイ中銀は4月下旬、今年の成長率見通しの下限を1月時点の4.5%から4.8%に上方修正した(上限は6.0%で変わらず)。
- ・ 一方、食品や原油の価格高騰から4月の消費者物価上昇率は前年比6.2%に加速した。しかし、報道によれば、コアベースでの物価の安定を背景に中銀は5月21日の金融政策会合では政策金利を3.25%に据え置く方針とされる。



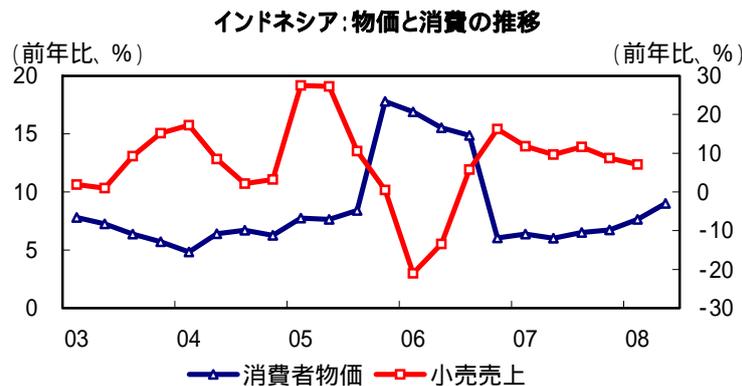
タイの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.5	5.1	4.8	4.3	4.8	5.7					
	民間消費	4.5	3.2	1.4	0.9	1.8	1.6					
	総固定資本形成	10.6	3.8	1.4	0.2	2.6	4.0					
生産	製造業生産指数(yoy)	9.0	7.4	8.2	5.6	8.7	12.2	13.0	14.1	14.8	10.0	
消費	総合消費指数(yoy)	3.9	3.1	2.5	1.5	2.6	4.2	7.0	8.3	5.9	6.8	
投資	民間企業投資指数(yoy)	10.3	2.2	0.5	2.8	1.9	3.7	5.9	4.5	6.0	7.2	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	7.2	0.9	12.5	1.4	2.9	4.6	1.2	0.7	0.7	0.2	
	輸出(yoy)	15.0	16.9	17.5	18.0	11.6	23.4	20.8	33.3	16.4	14.4	
	輸入(yoy)	25.7	9.0	8.7	7.3	8.0	15.5	38.0	49.1	33.1	32.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	7.6	2.2	14.9	1.1	2.9	6.2	3.1	1.4	0.8	0.9	
	外貨準備高(10億ドル)	52.1	67.0	87.5	73.0	80.7	87.5	110.0	92.8	100.5	110.0	109.8
雇用	失業率(季調前)	1.9	1.5	1.4	1.6	1.2	1.1	1.6	1.7	1.5	1.5	
物価	消費者物価(総合,yoy)	4.5	4.6	2.2	1.9	1.6	2.9	5.0	4.3	5.4	5.3	6.2
	消費者物価(コア,yoy)	1.6	2.3	1.0	0.9	0.7	1.1	1.5	1.2	1.5	1.7	2.1
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	6.3	6.2	1.2	3.5	2.7	1.2	2.1	1.2	1.9	2.1	
	商銀貸出残高(yoy)	8.4	5.6	6.8	3.1	4.9	6.8	17.0	9.2	14.4	17.0	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.2	7.5	7.3	7.9	8.0	7.3					
	株価指数(SET)	714	680	858	777	846	858	817	784	846	817	832
	為替レート(円/ドル)	40.2	37.9	34.5	34.6	34.0	33.9	32.4	33.1	32.6	31.4	31.5
	為替レート(円/ユーロ)	2.7	3.1	3.4	3.5	3.5	3.3	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3
	1ヶ月間金利(3M)	3.28	5.20	3.97	3.88	3.55	3.68	3.30	3.35	3.30	3.25	3.28

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%), 総合消費指数は10系列をベースにした指数に変更いたしました。

2. インドネシア経済の概況

- ・ 内需の持ち直しから緩やかな景気回復が続いている。1～3月期の実質 GDP 成長率は消費・投資の堅調に加えて輸出の好調から前年比 6.3%と堅調であった。
- ・ 一方、インドネシア政府は原油価格の高騰により石油燃料補助金支出が増大し、財政赤字が膨らんでいることから、6月以降補助金を削減し燃料価格を 30%引き上げることを選んだ。消費者物価上昇率は食品価格の高騰を背景に 4月にはすでに前年比 9.0%も上昇している。6月以降はこれに燃料価格の上昇が加わるためインフレが一段と加速することは避けられない見通しである。
- ・ こうした中でインドネシア中銀は 5月 6日の定例総裁会で 2005年 12月以来 2年半ぶりに政策金利を 0.25%ポイント引き上げ 8.25%とすることを決めた。
- ・ 今後、インフレの高進と金融引締めが景気の重石になる可能性が高いと見られ、インドネシア政府は今年の成長率目標を 6.4%から 6.0%に下方修正した。



インドネシアの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.7	5.5	6.3	6.4	6.5	6.3	6.3				
	民間消費支出	4.0	3.2	5.0	4.7	5.1	5.6	5.5				
	総固定資本形成	10.9	2.5	9.2	6.9	10.4	12.1	13.3				
生産	製造業生産 (yoy)	1.3	1.6	5.5	6.9	4.0	4.2	4.5				
消費	小売売上 (yoy)	15.9	4.0	10.4	9.7	11.6	8.8	7.1	1.7	11.7	11.3	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	28.0	39.7	39.6	10.2	9.1	10.4	10.4	3.7	2.7	4.0	
	輸出 (yoy)	19.7	17.7	13.2	15.6	9.4	14.1	31.4	34.5	28.5	31.2	
	(除く石油ガス, yoy)	18.8	19.8	15.6	20.4	10.9	11.3	24.8	31.6	21.2	22.0	
	輸入 (yoy)	24.0	5.8	22.0	16.1	19.6	34.7	49.0	42.1	67.7	40.0	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	0.3	10.8	11.0	2.5	2.2	3.4					
	外貨準備高 (10億ドル)	34.7	42.6	56.9	50.9	52.9	56.9	59.0	56.0	57.1	59.0	58.8
物価	消費者物価 (yoy)	10.5	13.1	6.4	6.0	6.5	6.7	7.6	7.4	7.4	8.2	9.0
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	16.4	14.9	18.9	15.8	17.1	18.9	15.3	16.5	16.8	15.3	
	株価指数 (総合)	1,163	1,806	2,746	2,139	2,359	2,746	2,447	2,627	2,722	2,447	2,305
	為替レート (北アドル)	9,751	9,141	9,164	8,988	9,244	9,299	9,186	9,291	9,051	9,217	9,234
	為替レート (円/100北ア)	1.13	1.27	1.29	1.34	1.27	1.22	1.15	1.16	1.18	1.09	1.11
	中銀債金利 (3ヵ月)	9.16	11.74	8.04	7.92	7.83	7.83	7.96	7.83	8.01	8.04	8.04

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、輸入は08年以降、保税区分を合算したベースに変更されており。伸び率はその分高上げされている。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	5.0	5.9	6.3	5.8	6.6	7.3					
	民間消費	8.7	7.1	11.7	13.1	14.0	11.1					
	総固定資本形成	5.0	7.9	10.2	6.6	13.5	11.0					
生産	鉱工業生産(yoy)	4.0	4.6	2.3	1.8	2.1	4.5	5.7	7.6	6.5	3.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.4	29.5	29.2	6.6	8.1	8.5	8.3	3.0	2.8	2.5	
	輸出(yoy)	11.3	14.0	9.7	7.8	6.9	16.1	19.1	18.5	24.3	15.3	
	輸入(yoy)	9.0	14.4	12.1	8.2	8.0	19.7	15.7	15.0	20.6	12.5	
国際収支	経常収支(10億リヤ)	75.7	93.4	99.4	23.6	29.5	26.2					
	外貨準備高(10億ドル)	70	83	119	119	113	119	145	127	138	145	
雇用	失業率(%)	3.6	3.3	3.2	3.4	3.1	3.0					
物価	消費者物価(yoy)	3.0	3.6	2.0	1.5	1.8	2.2	2.6	2.3	2.7	2.8	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.6	17.1	9.5	13.0	12.2	9.5	12.1	11.2	10.5	12.1	
	貸出残高(yoy)	17.5	11.1	8.7	6.1	9.5	8.7	9.9	9.3	9.6	9.9	
	不良債権比率(3M基準,%)	5.8	4.8	3.2	4.1	3.5	3.2	3.0	3.1	3.2	3.0	
	株価指数(総合)	900	1,096	1,445	1,354	1,336	1,445	1,248	1,393	1,357	1,248	1,280
	為替レート(リヤ/ドル)	3.79	3.67	3.44	3.43	3.47	3.36	3.23	3.27	3.22	3.19	3.16
	為替レート(円/リヤ)	29.1	31.7	34.3	35.2	34.0	33.7	32.6	33.0	33.2	31.6	32.5
	インターバンク金利(3M,%)	2.90	3.70	3.62	3.60	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61	3.61

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	4.9	5.4	7.3	7.5	7.4	7.4					
	民間消費支出	4.8	5.5	6.0	6.0	6.0	6.3					
	固定資本形成	6.6	1.4	9.5	10.1	9.2	10.3					
生産	鉱工業生産(yoy)	1.0	8.5	2.9	4.5	0.1	1.1		0.5	8.6		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	6.2	4.4	5.0	0.9	2.0	2.1		0.8	0.4		
	輸出(yoy)	4.0	14.9	6.4	4.6	2.3	9.9	2.7	6.0	10.5	6.8	
	輸入(yoy)	7.7	9.2	7.2	0.4	8.2	13.9		27.9	21.7		
国際収支	経常収支(10億ドル)	2.0	5.3	6.4	1.8	1.0	1.6					
	外貨準備高(10億ドル)	17.7	23.0	33.7	26.4	30.9	33.7	36.6	34.8	36.3	36.6	36.7
物価	消費者物価(yoy)	7.7	6.3	2.8	2.4	2.5	3.3	5.5	4.9	5.4	6.4	8.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	9.8	22.1	9.4	19.4	11.3	9.4		7.5	6.9		
	株価指数(総合)	2,096	2,983	3,622	3,661	3,573	3,622	2,985	3,266	3,130	2,985	2,750
	為替レート(ペソ/ドル)	55.0	51.3	45.9	46.7	45.8	42.7	41.0	40.7	40.4	41.9	42.2
	為替レート(円/ペソ)	2.00	2.27	2.56	2.59	2.57	2.65	2.57	2.65	2.65	2.41	2.43
	TB(3ヵ月,%)	6.10	5.29	3.38	2.98	3.68	3.72	n.a.	3.67	n.a.	n.a.	n.a.

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

【シンガポールの主要経済指標】

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	8.2	7.7	9.1	9.5	5.4	p 7.2				
	民間消費	3.9	3.3	4.6	5.3	5.6	5.1					
	総固定資本形成	0.1	13.5	20.2	27.6	17.0	16.5					
生産	鉱工業生産(yoy)	9.5	11.9	5.8	8.7	10.9	0.2		12.8	10.0		
消費	小売売上指数(yoy)	8.6	7.2	3.4	7.5	1.4	2.2	0.9	6.4	4.1	0.1	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	29.6	33.1	36.1	8.2	11.0	6.5	6.2	2.8	2.2	1.2	
	輸出(yoy)	15.6	18.4	10.1	7.2	8.4	14.8	21.3	22.2	28.1	14.9	
	輸入(yoy)	15.2	19.3	10.2	6.7	4.7	20.8	32.1	35.2	30.7	30.3	
国際収支	経常収支(10億ドル)	37.1	47.3	59.0	15.0	18.3	10.9					
	外貨準備高(10億ドル)	116	136	163	144	152	163	177	168	172	177	176
雇用	失業率(季調値,%)	3.1	2.7	2.1	2.3	1.7	1.7	2.0				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.0	2.1	1.0	2.7	4.1	6.6	6.6	6.5	6.7	
金融	マネーサプライ(M2,%)	6.2	19.4	13.4	23.6	20.0	13.4	11.9	12.6	12.1	11.9	
	株価指数(ストロイト)	2,347	2,986	3,482	3,548	3,706	3,482	3,007	2,982	3,026	3,007	3,148
	為替レート(S\$/S\$)	1.665	1.589	1.507	1.525	1.517	1.454	1.409	1.432	1.411	1.386	1.364
	為替レート(円/S\$)	66.2	73.2	78.1	79.2	77.6	77.8	74.7	75.3	75.9	72.7	75.3
	インターバンク金利(3M,%)	2.29	3.46	2.72	2.50	2.65	2.48	1.52	1.69	1.56	1.31	1.44

(出所) CEIC 他 (注) yoy = 前年比(%)

4. ベトナム経済の概況

- ・ インフレ抑制のための各種引締め政策にもかかわらず景気の過熱感がなかなか収まらない状況が続いている。一方、一連の金融引締め政策の影響から株価の下落が続いており、ベトナム株価指数（VN 指数）は年初来 50%近く下落している。
- ・ 4 月の消費者物価上昇率は、食品、住宅関連、運輸通信費などの高騰から、前年比 21.4%と前月（同 19.4%）からさらに加速した。こうした中で生活防衛のため賃上げを求めるストが頻発するなど社会の不安定化も見られる。6 月末までとされている電気や燃料など生活必需品の価格凍結期間の延期を求める声が政府内部からも出ている。
- ・ 一方、引締め政策にもかかわらず物価の高騰が続き、輸入の高い伸びを背景に貿易赤字が拡大するなど景気の過熱感が続く状況を受けて、米国の格付け会社 S&P は、5 月初めにベトナムの信用格付け見通しを「安定」から「ネガティブ」に引き下げた。

ベトナム:消費者物価上昇率の推移



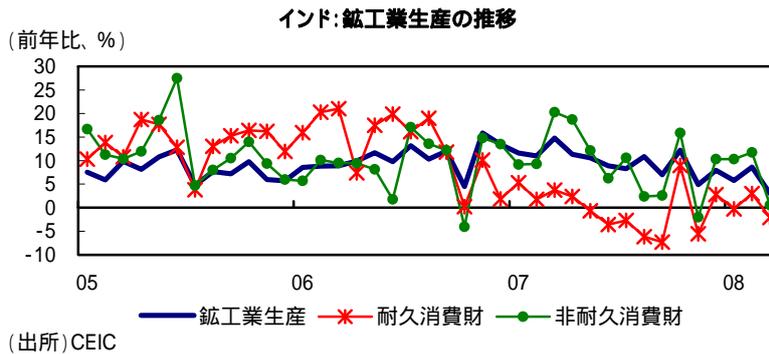
ベトナムの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質 GDP	8.4	8.2	8.5	7.8	8.2	8.5	7.5				
	農業生産	4.0	3.4	3.4	2.8	3.1	3.4	3.2				
ytd	鉱工業・建設生産	10.6	10.4	10.6	9.7	10.1	10.6	8.0				
生産	鉱工業生産(ytd,yoy)	17.7	18.0	16.7	13.8	14.5	16.7	23.7	7.4	17.4	23.7	21.7
消費ytd	小売売上(名目,yoy)	27.6	22.2	25.0	27.3	24.4	25.0	33.4	34.0	36.5	33.4	34.8
輸出入 ytd	貿易収支(10億ドル)	4.6	4.8	12.4	4.7	7.9	12.4	8.3	2.3	5.1	8.3	11.1
	輸出(yoy)	24.0	22.9	22.2	19.7	18.3	22.2	24.6	30.6	24.6	24.6	28.5
	輸入(yoy)	17.0	20.4	37.0	31.3	30.2	37.0	75.2	66.2	71.7	75.2	75.1
国際収支	経常収支(100万ドル)	217	569									
	外貨準備高(100万ドル)	9,050	13,383									
物価	消費者物価(yoy)	8.3	7.4	8.3	7.4	8.6	10.7	16.4	14.1	15.7	19.4	21.4
金融	株価指数(VN index)	308	752	927	1,025	1,047	927	521	844	663	521	522
	為替レート(ドン/ドル)	15,832	15,970	16,063	16,064	16,133	16,040	15,997	15,970	15,930	16,090	16,105
	為替レート(円/100ドン)	0.71	0.74	0.74	0.77	0.73	0.72	0.66	0.68	0.68	0.63	0.66
	プライムレート(翌日物:期)	n.a.	n.a.	8.25	8.25	8.25	8.25	8.75	8.25	8.75	8.75	8.75

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、GDP、生産、小売、貿易統計の四半期、月次はいずれも年初来累計ベース(ytd)。

5. インド経済の概況

- ・ インフレ抑制のための引き締め政策により内需が鈍化傾向にあり、景気は緩やかに減速している。3月の鉱工業生産は前年比3.0%増と前月(同8.6%増)から大幅に鈍化した。これは金融引締め政策の影響から消費財をはじめ全般的に生産が鈍化したためである。
- ・ 一方、4月の卸売物価指数は、国内供給量確保のための米の輸出規制や食用油の関税引下げなどのインフレ抑制策にもかかわらず、一次産品価格高騰の影響から前年比7.4%に加速した。
- ・ こうした中でインド準備銀行(中銀)は4月17日に続いて4月29日にも預金準備率の引き上げ(8.00%→8.25%、5月24日実施)を決めた。来年初めには下院総選挙が予定されているが、成長率よりもインフレ率が選挙結果を左右すると言われるインドでは、今後の物価動向次第で追加の金融引締め策が講じられる可能性が高い。その場合には景気がさらに下押しされることになろう。



インドの主要経済指標

		2005年	2006年	2007年	07/2Q	3Q	4Q	08/1Q	08/1月	08/2月	08/3月	08/4月
GDP (yoy)	実質GDP	9.1	9.7	9.1	9.3	8.9	8.4					
	農業生産	5.0	4.1	3.9	3.8	3.7	3.2					
	実質GDP(年度)	9.4	9.6									
	農業生産(年度)	5.9	3.8									
生産	鉱工業生産(yoy)	7.9	10.5	9.9	10.3	8.7	8.3	5.7	5.8	8.6	3.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.9	53.1	71.3	21.5	17.9	20.3	20.5	9.4	4.2	6.9	
	輸出(yoy)	27.4	25.7	20.1	20.7	16.0	31.6	30.4	20.5	46.7	26.6	
	輸入(yoy)	44.0	24.2	24.4	38.2	19.2	27.8	42.4	63.6	30.5	35.2	
国際収支	経常収支(10億ドル)	10.3	9.5	11.8	5.9	4.7	5.4					
	外貨準備高(10億ドル)	131.0	170.2	266.6	206.1	240.0	266.6	299.2	283.6	291.3	299.2	
物価	卸売物価(yoy)	4.7	4.8	4.8	5.4	4.1	3.4	5.5	4.5	5.3	6.6	7.4
	消費者物価(yoy)	4.0	6.3	6.4	6.3	6.7	5.5	6.3	5.5	5.5	7.9	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	17.8	19.3	22.6	21.6	21.3	22.6	20.6	23.6	22.8	20.6	21.0
	株価指数(BSE Sensitive)	9,398	13,787	20,287	14,651	17,291	20,287	15,644	17,649	17,579	15,644	17,287
	為替レート(ルピー/ドル)	44.1	45.3	41.2	40.9	40.4	39.5	39.8	39.4	39.9	40.0	40.5
	為替レート(円/ルピー)	2.50	2.57	2.86	2.95	2.92	2.87	2.65	2.74	2.7	2.5	2.5
	TB3ヶ月	5.43	6.40	7.17	7.38	6.25	7.39	7.31	7.27	7.44	7.23	7.35

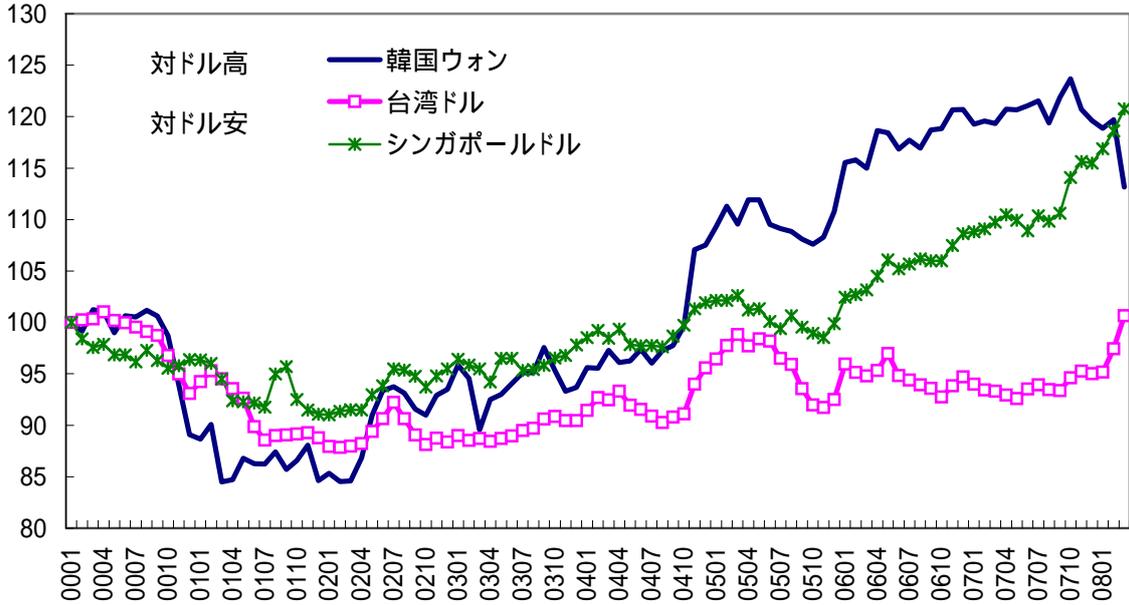
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月

アジア通貨・株価動向

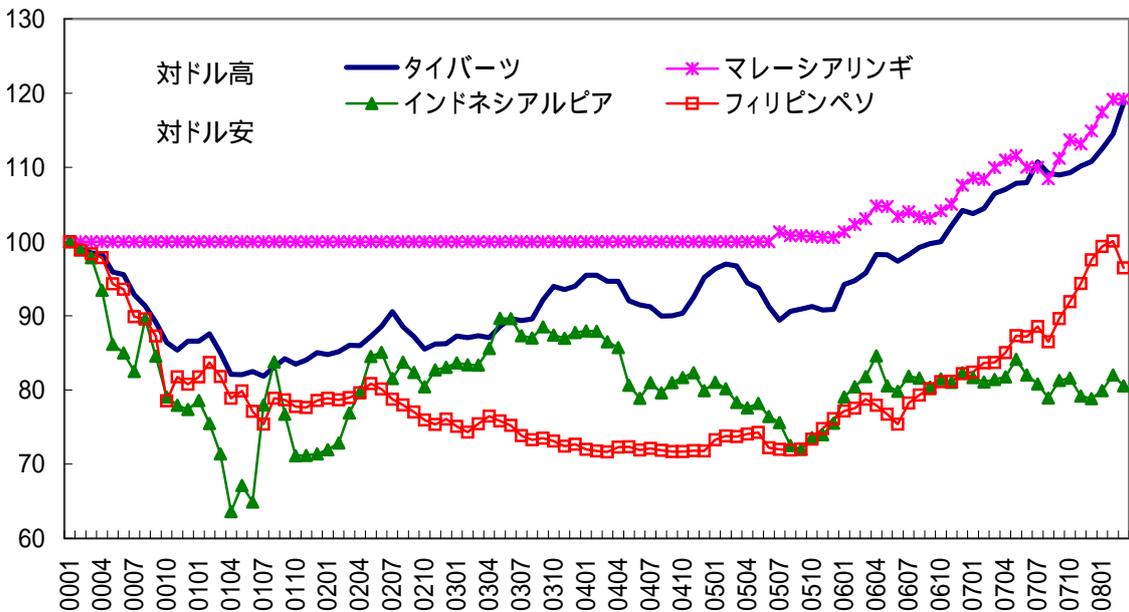
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

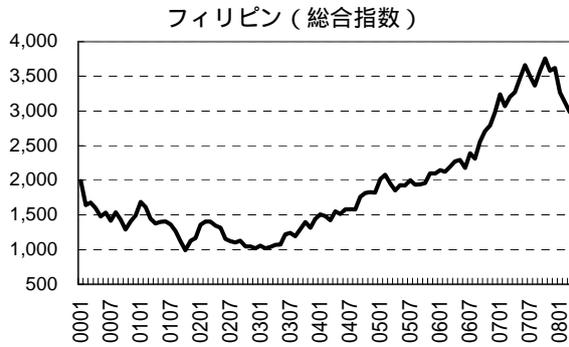
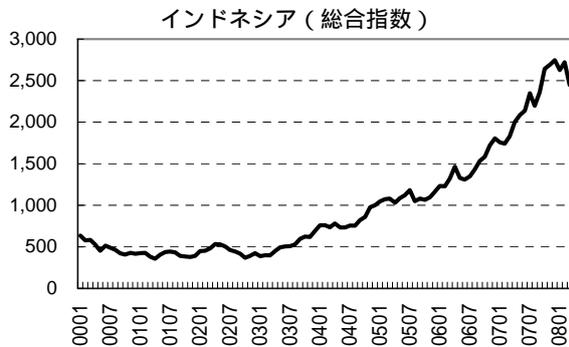
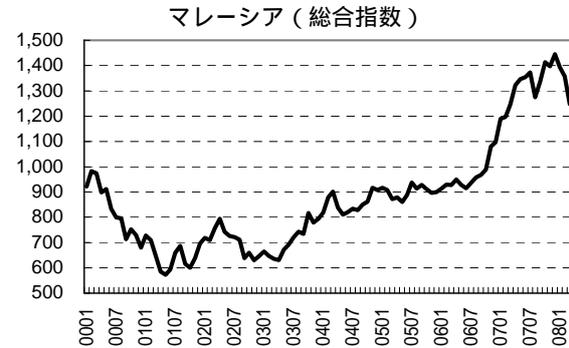
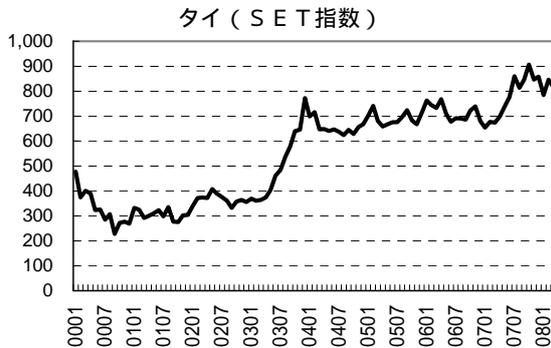
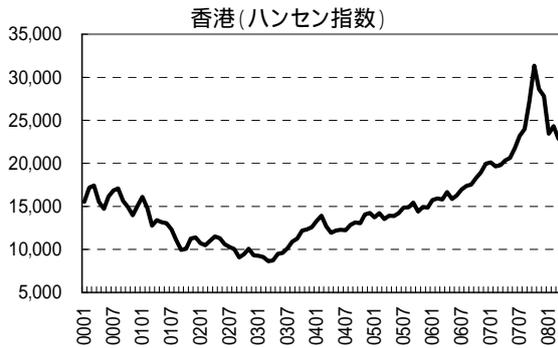
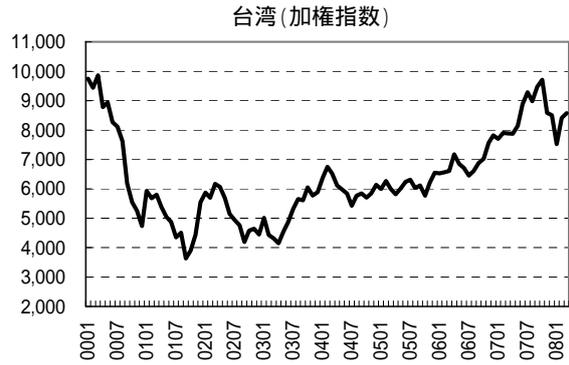
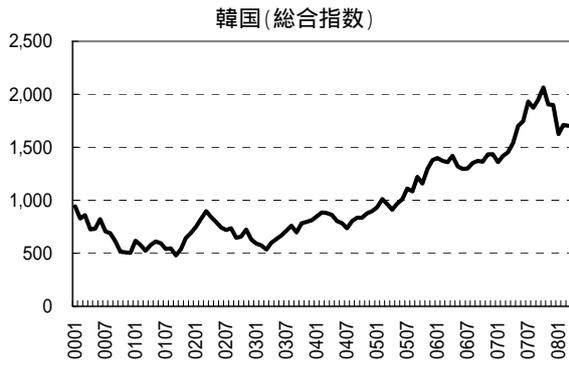


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。